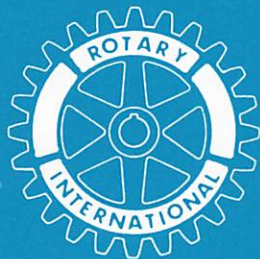


# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 名古屋東急ホテル  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 池森由幸  
 幹事 足立一郎  
 広報・会報委員長 榎尾富二

No. 11

### こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

### Reach Within to Embrace Humanity

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルシー

今日の例会

第1379回 平成23年9月27日(火)

職場例会

医療法人 博報会 介護老人保健施設 あまこだ

先週の例会

第1378回 平成23年9月20日(火) 雨

講演 “尾張徳川家の創出と相応院お亀の方”

東邦学園大学 高木備太郎様

◆それでこそロータリー

◆ゲスト紹介 東邦学園大学 高木備太郎様

◆出席報告

会員	42(35)名	出席	24名
出席率	68.57%		
前々回	9/6(修正出席率)	97.06%	

### 足立幹事報告

- 1) 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員は4階桐の間にお集まり下さい。
- 2) 次回例会は職場例会で12:00より 介護老人保健施設 あまこだ にて開催致します。
- 3) 2010~2011年度ガバナー月信の最終号が来ておりますのでお帰りにお持ち下さい。

◆吉田国際奉仕委員米山担当者よりお願い

お手元に寄付のお願いをしておりますが、ここ2年間の寄付実績は不足となっております。

10月14日までにご返事をお願い致します。

本日の会報2ページに詳しく掲載しておりますので、宜しくお願い致します。

ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。

事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

### 池森会長挨拶

先週の水曜日(2011年9月15日)に米山奨学委員長会議に出席して参りました。

米山奨学生制度は、現在、年間800名の奨学生を迎えている民間で最大の奨学金制度で、これは、国際ロータリーで行っている世界全体規模の交換留学生の数と同じ規模の制度です。しかし、近年、財政的に難しい状況になっているようです。

千種クラブでは、昨年、2760地区の平均的な寄付金額の約14,000円を拠出していますが、出来れば25,000円をお願いしたいとのことでしたので皆様にも是非再度お考え下さいますようお願い申し上げます。

また、「東日本大震災の影響で、奨学生の2割が戻ってこなかった?」との情報が流れているようですが、これは事実ではないとの事でした。

震災直後に、一時的に避難帰国をした奨学生は100人弱いますが、5月末時点で全員が日本に戻ってきたことを事務局が確認しています。

ただし、残念ながら、その後、奨学金を辞退して母国へ帰った人が2人いたということでした。また、世界各地の米山奨学生から義援金が寄せられ、現時点で合計7,397,500円もの厚志が集まったとのことでした。なかでも、第2630地区(岐阜県・三重県)の内藤篤米山奨学委員長のもとに、ニューヨーク在住の学友から岐阜市内の知人を介して、東日本大震災への義援金1万ドルの小切手と手紙が3月末に届けられたとのことでした。

その時に、内藤委員長は、その手紙を読んで、胸が震えたと言います。その内容は、「大地震・津波・原発事故のニュースに接し、心よりお見舞い申し上げます。20年前、米山奨学生として岐阜RCにお世話になり、カウンセラーの高橋さんとご家族にも大変良くいただきました。医学博士の学位取得も皆さまのおかげと胸に刻んでおります。少しですが、義援金を送り、昔日のご厚情にお応えしたいと思います。被災地の再建を心よりお祈りしています」リナ・・・送り主は、ニューヨークの医科大学院に勤める李娜さん(中国/1991-92/岐阜RC)。李さんと同じ研究室に勤務する同僚が日本に仕事で来日された時に託され、わざわざ岐阜まで来られてご自身も1,000ドルの小切手も同封され、合計90万円を超えるこれらの義援金はすべて世話クラブの岐阜RCに託されました。

先ほどの吉田委員長からのご案内にもありましたよ

うに、今日、寄付金のお願いを文書で皆様に差し上げていますので、一層のお志をお願いしたいと思います。なにとぞ、よろしくお願い申し上げます。

◆ 講演 “尾張徳川家の創出と相応院お亀の方”  
なぜ、九男の義直が尾張藩の初代藩主になったのか  
東邦学園大学 高木備太郎様 (紹介 吉田君)



千種区の城山・八幡宮地区には寺が多い。しかし、江戸時代までは、現在本山にある桃巖寺以外にはない。明治37年に日泰寺ができてから移転して来た寺である。

日泰寺は、創建当時日蓮寺(につせんじ)と言った。現在のタイ、当時のシャム(暹羅)の国王から、釈迦の骨を仏教会がいただいて建てた寺である。この時、名古屋の東郊にあった田代村の村長であった加藤慶二氏が、村民を説得して、十万坪の土地の提供を申し出た。これにより、ライバルであった京都に勝って、名古屋に建てられたのである。

加藤慶二氏は、明治39年隣の鍋屋上野村との合併を機に、村名を東山村とし、京都の東山をイメージした地域づくりをすすめた。その結果、名古屋市内から寺や別荘や学校が移転するようになり、今日の城山・覚王山地域が出来あがってきた。

相応寺は、昭和7年に東区の山口町から移転してきた。初代尾張藩主徳川義直が、母相応院お亀の方の菩提を弔うために建てた寺である。移転時は、京都の清水寺を模した舞台が作られた。

相応院お亀の方については、従来あまり注目されてこなかったといっているだろう。

しかし、義直が8歳で九男であるにもかかわらず、家康はなぜ、尾張の領主にし、更に、「天下普請」で大坂城や江戸城に継ぐ巨大な名古屋城と碁盤割りの城下をつかって彼に与えたのだろうか。

直接のきっかけは、慶長12年に関ヶ原後尾張の領主にしていた、四男の松平忠吉がなくなったことである。その間には、六男の忠輝がいたが(五男は慶長8年没)、伊達政宗の娘との婚姻関係があり、伊達と結んで、江戸の北方の備えからはずせなかった。しかも、七男と八男は夭折しており、九男の義直となったと思われる。

これに加えて、相応院お亀の方が、家康の数ある側室の中で、唯一の関西出身女性であったことがあると思われる。お亀の方は、石清水八幡宮の神職、志水家の出であり、その人脈は、関西の流通と文化に深くかかわっていた。江戸期に尾張藩の京・大坂の財政に深くかかわる中西家・公家の東候家は、お亀の方の縁戚である。

また、「寛永の三筆」として著名な、石清水八幡の社僧松花堂昭乗は、お亀の方との繋がり、京都で尾張徳川家が公家衆を招いて茶会を開く時の茶頭を務める等、近衛家等公家や文化人と徳川家と結ぶ上で大きな役割

を果たした。

お亀の方を徳川家康に結びつけたのは、平岩親書であると思われる。彼は、今川人質以来、近侍した家臣である。長男信康の守役であったのでその死後一時謹慎するが、家康の信頼はゆるがず、家康が、五大老の一人として伏見城に詰める頃から、京・大坂方面の対策担当となった。

彼は、お亀の方の最初の子八男仙千代の守役となり、子がなかったので、養子としていただいた。後仙千代が死んだので、今度は義直の守役となった。義直とお亀の方が、駿府にいる時に尾張にいて尾張藩を実質つづけたのは彼である。

また、豊臣家対策の鍵をにぎる紀州浅野家と関係(春姫と義直の婚姻)も、平岩とお亀の方のコンビによると思われる。

### ◆ 9月理事役員会議事録

- 1) 入会金見直しの件は次回審議する。承認
- 2) 規定集の一部改訂の件は次回審議する。承認
- 3) 次年度地区委員会委員推薦の件。  
会長・幹事に一任 承認
- 4) 親睦委員会の件。  
秋季家族会  
11月8日(火) バス旅行の案内を郵送する。  
年末会員家族懇親会  
12月13日(火) 女性マジシャンを企画次回理事  
会に詳細を案内する。
- 5) 名古屋YMCA 第18回チャリティーランの件。  
今年度は辞退する 承認
- 6) 地区協議会実行副委員長報告。  
萩原喜代子さん・林正路君の2名に決定
- 7) IM各クラブ訪問。  
パンフレットを各クラブに郵送し、9月中旬～  
10月に訪問し、参加の呼びかけをする。

## ニコボックス

油田 弘佑

音楽同好会の簡単な規約を作成し、金融機関の口座を開いたしました。

その記念に幹事の専権でチャリティコンサートに会員1名宛千円合計一万円を寄付させて頂きました。

池森 由幸

今日の卓話高木備太郎様宜しくお願いします

堀江 宏輝

ホームクラブご無沙汰しました。

佐久間良治

彼岸の入り台風も暑さも去っていけ

足立 一郎

萩原喜代子

小山 雅弘

宮尾 紘司

西川 豊長

大谷 恩

佐野 寛

鈴木 理之

鈴木 聖三

竹内 克豊

竹内 眞三

舎人 経昭

吉田 玄

高木様 お話宜しくお願い致します。

渡邊 源市

高木様 お話宜しくお願い致します。ご夫人誕生日祝い

合計 51,000 円